

2 友好都市提携の経緯

高松市では、国際化の進展に伴い、アメリカ、ヨーロッパの都市との姉妹都市提携後、3番目の都市提携先として、日本にとって一衣帯水の国であり、歴史的な関係も深い中華人民共和国の都市との友好提携を進めることとなり、中国日本友好協会へ候補地を依頼したところ、4市の推薦がありました。

そして、視察調査などを行い、種々検討した結果、次のような事由から南昌市を本市の3番目の友好都市として、友好都市提携を締結しました。

- ・本市との友好都市提携に強い熱意を持ち、江西省も応援している。
- ・気候や風土が似通っており、違和感がなく、親しみが持てる。
- ・環境や自然も似ていることは、交流を深めていく上で、大切であり、持続性が期待できる。
- ・市の規模も大きく、景観も良く風格を備えている。
- ・江西省の省都であり、交通の結節点になっており、産業の中心として繁栄している点が本市と似ている。
- ・産業構造も本市と似通っており、各種産業が交流しやすい。
- ・歴史が古く、伝統的な文化・芸術、さらには史記の保存等に力を入れ、教育活動も盛んである。
- ・住民が好意的で、市内の治安状態も良い。
- ・距離的に近い位置にある。



脇信男市長と南昌市蔣仲平代市長による調印式

平成2（1990）年9月28日南昌市で調印し、11月7日には高松市で調印しました。